

タイトルと目標規定文の例

<例1>

タイトル：藤沢フィルハーモニーのネットコミュニケーション戦略に関する提案

目標規定文：市民楽団藤沢フィルハーモニーの集客力低下の主な原因がコンサート告知のPR不足と観客との意見交換の不足にあることをアンケートの結果から論証し、これらの状況改善のためにコミュニケーション機能を持ったWebサイトおよびi-modeサイトの開設が必要であることを主張する。さらに、それぞれの仕様の概要を提案する

<例2>

タイトル：イギリスにおけるサブカルチャーの形成モデル　　マンチェスター・シティー・サポーターグループの事例におけるその有効性の検証

目標規定文：リチャード・ホガートおよびスチュアート・ホールの文献に対する検討と解釈から、イギリスの労働者階級における下位文化（サブカルチャー）の形成過程のモデルを構築し提示する。それとともに、1980年代のマンチェスター・シティー・サポーターグループの発展・解消過程がそのモデルによって説明可能であることを示す。

<例3>

タイトル：30代のあなたに　“平中悠一” 作品へのいざない

目標規定文：作家・平中悠一の一連の作品が、バブル期に青春時代を迎え、かつバブル崩壊以降の都市文化を題材とする小説に物足りなさを感じる現在の30代の人たちに勧められるものであることを示す。そのために、彼の小説の魅力が随所に商品名やミュージシャンの名前などの個有名のちりばめられたその文体にあり、80年代の消費文化を背景に発表当時一部の読者による熱狂的な支持を得たことを説明する。また、それゆえにより多くの拒否反応をもって迎えられたこと、寡作ながら現在も同様の路線で良質の作品を書き続けていることを説明する。